

論壇

コロナで本格的に加速

デジタル・トランスフォーメーション(DX)という言葉を知っているだろうか。最近、ビジネス書などによく出てくる言葉だが、デジタル技術によって企業や社会の仕組みを変えていく(トランスフォーメーション)というようなことを意味する。

人工知能(AI)、IoT(モノのインターネット)、5G、クラウド、ゲノム解析など、さまざまな分野で技術革新が起きているが、これらは全て情報をデジタル化することによって可能になる。すなわちデジタル技術の活用だ。

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

デジタル技術による社会変革

このような技術が進むことで、社会のあらゆる分野で変化が起きるはずである。

そうした変化に期待する人が多かったが、現実の変化は遅いものであった。どうしたらもっと変化のスピードを速くできるのか。多くの企業ではそうした思いで変革

に取り組んでいる人も多かった。政府でもそれは同じだ。

デジタル・トランスフォーメーションの考え方が注目したのは、技術の変化のスピードだ。デジタル技術の変化は、倍々ゲームのようなスピードで進んでいる。今、私たちが使っているスマホは、ほんの少し前には大型コンピュータ

の変化のスピードに大きなギャップが生まれ、それがさまざまな摩擦を起こすことになる。ただ、ものは考えようだ。技術の変化のスピードをドライビングフォース(機動力)として活用して、社会や企業の変化のスピードを加速化することができるとは。デジタル・トランスフォーメーション

の考え方だ。

新型コロナウイルスによって、デジタル・トランスフォーメーションが本格的な加速を始めた。教育現場では遠隔授業のためにZoom(ズーム)のようなテレビ会議の仕組みが普及してきた。今や毎日の生活はZoomなしには成り立たないと私の学生たちも言っている。こうした動きは、間違いなく教育の姿を変える原動力となる。入試の仕組みから留学の在り方まで、教材のスタイルから学生間の交流の在り方まで、全てが大きく変わるはずだ。

対応力付ける教育重要

オンライン会議の仕組みは、企業の現場でも利用が広がっている。今や家からパソコンでつながることなしに仕事をすることは不可能という人が増えており、仕事の時間の使い方から会議のやり方で働き方や企業の姿が大きく変わろうとしている。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。